

いよいよ化学の実験が本格的になってきました。これまでの知識をもとに考えよう！

目的　　　物質の性質を手がかりにして、謎の物質の正体がなんであるかを明らかにする。

準備　　砂糖　　片栗粉（デンプン）　　食塩（塩化ナトリウム）　　　物質X・Y　　　石灰水　　　薬包紙　　薬さじ

試験管　　　試験管立て　　　安全めがね　　　集気びん　　　ふた　　　燃焼さじ　　　アルミニウムはく

ガスバーナー　　　マッチ　　　燃えさし入れ　　　その他必要な道具があれば・・・



方法　①　砂糖・片栗粉・食塩・物質X・Yを調べる方法を考えて下の表に記入する。

　　　②　自分たちで考えた安全な方法で性質を調べる。

　　　　　　※注…毒性のある物質もあるので、なめて味を確かめたりしない。

　　　③　右図のようにして炎の中に入れて、燃えるかどうかを調べる。

　　　　　　※注…煙を吸い込まないように気をつけよう。換気もしよう。

　　　④　火がついたら燃焼さじを石灰水の入った集気びんに入れる。

　　　　　そのときに、燃焼さじを石灰水につけないようにする。

火が消えたら取り出す。



　　　⑤　集気びんにふたをしてよく振り、石灰水の反応を調べる。

⑥　結果を表にまとめ、物質X・Yの正体を考える。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 調べる方法 | 砂糖 | 片栗粉 | 食塩 | 物質X | 物質Y |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 加熱したときのようす |  |  |  |  |  |
| 石灰水のようす |  |  |  |  |  |

考察（なぜそのように考えたのかを書いてみよう）

　1年　　組　　 番　氏名